

# クビアカガードネット 施工手順要領書

- ◆桜・桃・梅などのバラ科の樹木を加害するクビアカツヤカミキリの対策方法のひとつである、クビアカガードネットの施工手順要領書です。
- ◆本施工手順要領書は、施工作業の統一化を図るとともに信頼性を向上させるために作成したものです。施工作業前の準備として、ご一読ください。  
尚、本書は基本の施工手順要領書であり、施工方法は現場の状況に合わせて工夫をお願いします。
- ◆本施工手順要領書の内容は、改良のため予告なく変更する場合があります。



監修・写真提供：有限会社エコネット・むねざね



## ●クビアカガードネット 基本の施工方法

【ストレート巻き】



【複数主枝連結巻き】



## ●施工前準備

施工の前に、作業に必要な全ての資材が揃っているかをご確認ください。



### 【事前準備品】

- ① クビアカガードネット 1.8×50m、② クビアカガードネット 0.9×50m、
- ③ 株元からの雑草抑制用/切り株からの脱出防止用 防草アグリシート（推奨規格：1.5×100m）、
- ④ 小枝・ひこばえ抑制用 アグリシートテープ 8cm×10m、
- ⑤ 小枝・ひこばえ抑制用 アグリシートテープ ハーフカット 10cm×10m、
- ⑥ 長さ測定用スケール、⑦ クビアカツヤカミキリ幼虫駆除用殺虫剤、⑧ 樹木切り口用 殺菌塗布剤、
- ⑨ ノコギリ、⑩ 剪定バサミ、⑪ 排糞孔清掃と刺殺用の千枚通し、⑫ 浮かせヒモ用PPロープ、
- ⑬ 補強用シュロ縄、⑭ 補強用粘着テープ、⑮ ガンタッカー（針：足長13mm・ステンレス製）、
- ⑯ ホッチキス（針：ステンレス製）、⑰ ハサミ、⑱ カッター、⑲ 金槌、
- ⑳ 黒丸君 U字ピン+ワッシャー付（推奨規格：15cm or 20cm）



## ●施工手順

### 【ネットの被覆前処理】

手順①：対象木の清掃を行う。

◆フラスが確認された箇所があれば、フラスの除去と殺虫剤注入等の処理を行う。



◆排糞孔から、千枚通し（もしくは針金など）を用いて幼虫の刺殺駆除を行う。

◆樹皮への産卵が確認された場合は、即刻除去する。



↓卵の拡大写真



◆ネット巻きの障害となるひこばえや小枝があれば、カットする。

◆カットした切り口には殺菌剤を塗布する。



◆株元に生えている雑草を除去する。





## 手順②：ひこばえ・小枝・雑草の再発生の抑制処理をする。

ひこばえ・小枝・雑草を除去した後にネットを設置して、そのまま放置していると内部から再発生してネットを押し上げてくる事があります。  
このようなことを予防するために、あらかじめ再発生抑制処理をする事をおすすめします。



→  
内部からネットを押し上げるひこばえや雑草

◆ひこばえ・小枝をカットした場所にはアグリシートテープを貼り付ける。

◆さらに、テープを貼り付けた上からホッチキスなどを用いて補強する。



◆株元には防草アグリシートを設置する。

◆まず、シートを張る株元の直径を測定しシートの長さを採寸する。



※長さの測定にはPPロープを用いる。

※地上に出ている根張り部分も含めた直径を測定する。

◆採寸した長さに10～20cm程の余裕をプラスしてシートをカットする。





◆カットしたシートに十字に切り込みを入れる。



◆切り込みを入れたシートを株元にはめ込む。



※切り口を内側に折り込みながら、シートをはめていく。

※樹とシートとの間にすき間があると、そこから雑草が生えてくるので注意する。

◆シートの端部を株元の大きさに合わせて内側に折り込んでいく。



※シートを設置することで、株元からの雑草の発生を抑制すると同時に、地際付近へのクビアカツヤカミキリの侵入・産卵の防止効果もある。

※根張り部分からも産卵・侵入される場合があるので、根張り部分にも可能な範囲でシートをカバーしていく。

◆シートの周りに黒丸君を打ち込み、地面に固定する。



※この後、シートの上にネットを設置する際に、ネットとシートをまとめて黒丸君で固定するので、この時の固定は仮止め程度で良い。



## 【ストレート巻き施工手順】 ※枝分かれの無い樹に巻きつける際の設置方法

施工前



施工後

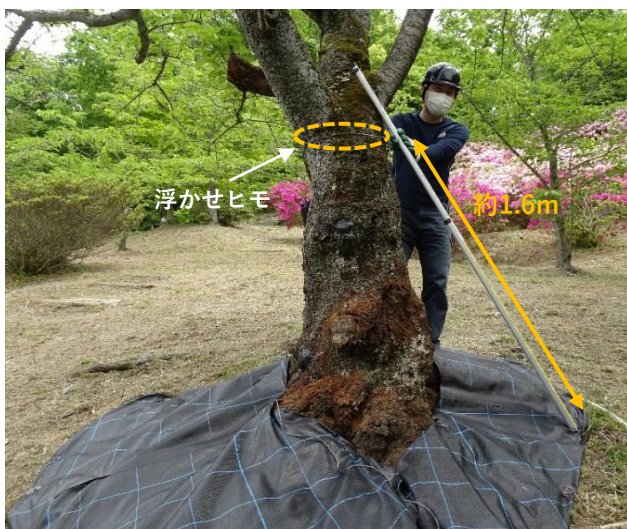


※枝分かれのない樹の、地際から高さ1.5～1.7m付近までをカバーする  
施工方法になります。

※ネットを巻く際には外からの産卵や被害樹木の内部からの噛み切りを抑制する  
ため、出来る限りネットと樹は密着させず浮かすようにして設置してください。

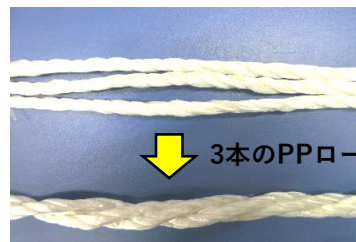
手順①：ネットを取り付ける位置を決め、ネットを巻く長さの採寸・カットをする。

◆地際からの高さ 約1.6mの地点に浮かせヒモ（PPロープ）を設置する。



※ネットと樹を密着させないようにする為に、浮かせヒモは  
直径15mm以上のものを使用することをおすすめします。

※PPロープ（8mmφ）を3本撚り合わせることで、  
直径15mm以上の浮かせヒモを作成する事が可能です。



◆対象樹体の中で、最も太い地点の幹周を測定する。



※この樹の場合、最も太くなっている地際の幹周を測定する。



◆採寸した長さに10～20cm程の余裕をプラスして、クビアカガードネット 1.8m幅をカットする。



**手順②：カットしたネットを樹に巻きつける。**

◆ガンタッカーを用いて、ネットを樹に仮止めしてしていく。



※手順①で取り付けした浮かせヒモにネットの端部を合わせ、上からガンタッカーを打ち込む。

◆上部のネットの余りが出る部分は、手繰り寄せて均等に振り分けて固定する。



◆側面のネットとネットの合わせ目は、強度を上げる為に一度折り返し、その上からホッチキスを用いて縫合する。

◆その後、粘着テープで縫合部をはさむようにして貼り付け、ホッチキスでもう一度補強する。





### 手順③：ネットの本固定をする。

- ◆ガンタッカーで仮止めした上から、粘着テープを二重に巻き付ける。



※この時、樹とネットとの間に隙間が出来ていると、虫の侵入・脱出を許してしまう可能性があるので注意する。

- ◆粘着テープの上からシュロ縄を二重巻きで補強し、さらにガンタッカーで打ち込み固定をする。



### 手順④：ネットの裾部分を地面に固定し、完了。

- ◆ネットの裾部分を内側に折り返し、上から黒丸君（U字ピン+ワッシャー）を打ち込む。



※ネットの裾部分とあらかじめ株元に敷いているアグリシートを一緒に固定する。

#### 今回使用した資材数量

- ・ 防草アグリシート 1.5m幅：5m分
- ・ クビアカガードネット 1.8m幅：6.1m分
- ・ 黒丸君 15cm：36組



## 【複数主枝 連結巻き施工手順】 ※主枝が複数ある樹に巻きつける際の設置方法

施工前



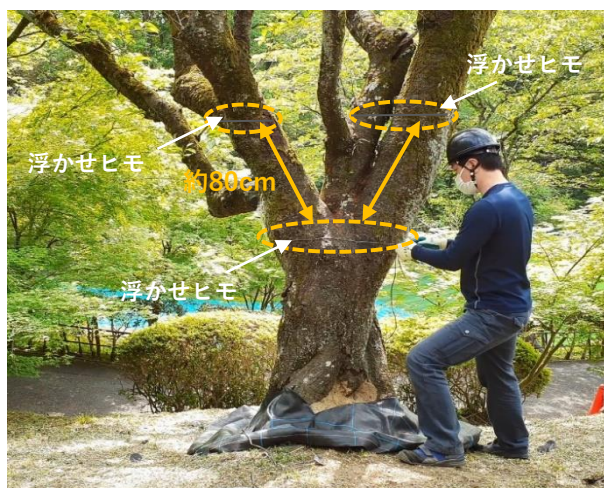
施工後



※主枝が複数ある場合、主枝毎にネットを巻きつけてください。  
※主枝と主枝との間には、ふんどし状のネットを装着してください。

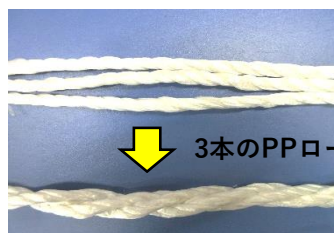
### 手順①：ネットを取り付ける位置を決め、「ふんどし」を装着する。

- ◆枝分かれが始まる前の主幹部に浮かせヒモ（PPロープ）を設置する。また、主幹部の浮かせヒモから高さ 約80cmの地点にも浮かせヒモを設置する。（主枝毎に浮かせヒモを設置する）



※ネットと樹を密着させないようにする為に、浮かせヒモは直径15mm以上のものを使用することをおすすめします。

※PPロープ（8mmφ）を3本撚り合わせることで、直径15mm以上の浮かせヒモを作成する事が可能です。



- ◆主枝と主枝の間にふんどし状のネットを装着する。

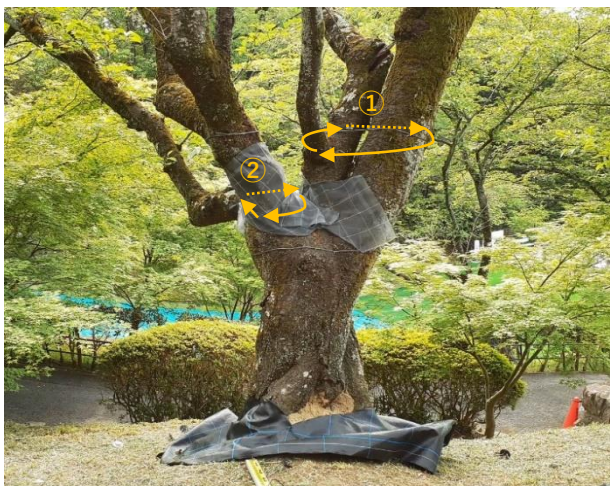


※主枝にネットを巻く際に隙間が出来ないようにする為に、ネットを適当なサイズにカットして、ガンタッカーを用いて主枝と主枝の間に設置する。



## 手順②：それぞれの主枝にネットを巻く長さの採寸・カットをする。

- ◆それぞれの主枝の中で、最も太い地点の幹周を測定する。



- ◆採寸した長さに10～20cm程の余裕をプラスして、クビアカガードネット 0.9m幅をカットする。

## 手順③：カットしたネットをそれぞれの主枝に巻きつける。

- ◆ガンタッカーを用いて、ネットを樹に仮止めしてしていく。



※手順①で取り付けした浮かせヒモにネットの端部を合わせ、上からガンタッカーを打ち込む。

※ネットの余りが出る部分は手繰り寄せて均等に振り分けて固定する。

- ◆側面のネットとネットの合わせ目は、強度を上げる為に一度折り返し、その上からホッチキスを用いて縫合する。
- ◆その後、粘着テープで縫合部をはさむようにして貼り付け、ホッチキスでもう一度補強する。

## 手順④：上部のネットの本固定をする。

- ◆ガンタッカーで仮止めした上から、粘着テープを二重に巻き付ける。
- ◆そして、粘着テープの上からシュロ縄を二重巻きで補強し、さらにガンタッカーで打ち込み固定をする。



※この時、樹とネットとの間に隙間が出来ていると、虫の侵入・脱出を許してしまう可能性があるので注意する。



## 手順⑤：主幹部に巻くネットの長さの採寸・カットをする。

- ◆主幹の最も太い地点の幹周を測定する。



※この樹の場合、最も太くなっている地際の幹周を測定する。

- ◆採寸した長さに10～20cm程の余裕をプラスして、クビアカガードネット 1.8m幅をカットする。

## 手順⑥：カットしたネットを主幹部に巻きつける。

- ◆ガンタッカーを用いて、ネットを樹に仮止めしていく。



※上部との連結部分にネットの端部を合わせ、ガンタッカーで打ち込む。

※ネットの余りがでる部分は手繰り寄せて均等に振り分ける。

- ◆主幹部分の側面のネットとネットの合わせ目も主枝部分と同様、強度を上げる為に一度折り返し、その上からホッチキスを用いて縫合する。
- ◆その後、粘着テープで縫合部をはさみながら貼り付け、ホッチキスでもう一度補強する。





### 手順⑦：下部のネットの本固定をする。

- ◆ガンタッカーで仮止めした連結部分に、上から粘着テープを二重に巻きつける。



- ◆粘着テープの上からシュロ縄を二重巻きで補強し、さらにガンタッカーで打ち込み固定をする。



### 手順⑧：ネットの裾部分を地面に固定し、完了。

- ◆ネットの裾部分を内側に折り返し、上から黒丸君（U字ピン+ワッシャー）を打ち込む。



※ネットの裾部分とあらかじめ株元に敷いているアグリシートを一緒に固定する。

#### 今回使用した資材数量

- ・ 防草アグリシート 1.5m幅：2m分
- ・ クビアカガードネット 0.9m幅：4m分
- ・ クビアカガードネット 1.8m幅：4.9m分
- ・ 黒丸君 15cm：23組



## ●切り株からのクビアカ脱出防止用シート 施工手順

クビアカツヤカミキリ被害樹の切り株には、残留幼虫が生息している可能性があります。この幼虫が2～3年後には成虫となり羽化脱出してしまいますので、それを防止するために切り株に防草アグリシートを被覆することをおすすめします。

施工前



施工後



※半枯れ状態の切り株からはひこばえが発生しやすくなります。  
遮光性の高い防草アグリシートを設置することで、ひこばえの成長を抑制し、また、樹体内部から出てきた成虫には噛み切られない為脱出も防ぐことが出来ます。

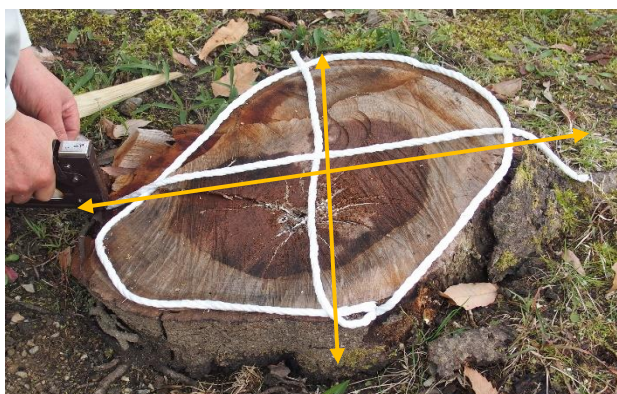
手順①：切り株に浮かせヒモを設置し、被覆するシートの長さの採寸・カットをする。

◆切り株との擦れからシートを守るために、浮かせヒモ（PPロープ）を設置する。



※浮かせヒモの設置にはガンタッカーを用いる。

◆切り株のタテ・ヨコの長さを測定する。



※地上に出ている根張り部分も含めた長さを測定する。



◆採寸した長さに10～20cm程の余裕をプラスしてシートをカットする。



手順②：カットしたシートを切り株に設置する。

◆切り株をシートで覆いかぶせ、シートの端部を株元の大きさに合わせて内側に折り込んでいく。



◆シートの周りに黒丸君を打ち込み、地面に固定し完了。



#### 今回使用した資材数量

- ・ 防草アグリシート 1.5m幅：1.6m分
- ・ 黒丸君 15cm：10組



## ●注意事項

- ◆ネットを巻く際には、外からの産卵や被害樹木の内部からの噛み切りを抑制するため、出来る限りネットと樹は密着させず浮かすようにして設置して下さい。
- ◆ネット設置後には経過をしっかりと観察してください。ネット内部でフラスの堆積が確認された場合には、フラスを除去し、排糞孔を特定して刺殺処理・薬剤注入処理を行ってください。また、被覆ネット内に樹体から脱出した成虫を発見した際には、被害の軽減を図るためにも（園外に持ち出さず敷地内にて）即刻捕殺してください。
- ◆ネット設置が完了した後でも、被害発生シーズン前には必ず点検・補修を行ってください。
- ◆ネットだけでなく、薬剤や保護剤等と併用することで、クビアカツヤカミキリの防除効果が見込めます。なお、薬剤使用時には適用樹種を必ず確認してください。
- ◆クビアカガードネットの補修方法（メンテナンス時やネットが破損した場合）  
クビアカツヤカミキリの捕殺やフラス除去は、U字ピンを抜いての作業が基本となりますが、簡単な作業はネットにカッターナイフを用いて切れ目を入れて、その切り口からでも作業が行えます。  
また、切れ目の縫合方法も左右のネットを重ね合わせて、ホッチキスで止めるだけで簡単に補修が可能です。



ピンポイントカット



捕殺処理



ネットをつまみ重ねる



折り返してホッチキス縫合



補修完了

## ●クビアカガードネット その他の応用

クビアカガードネットは、クビアカツヤカミキリ対策以外でも下記の用途で使用実績があります。

- ◆カシ・シイ・ナラ 類などの「ナラ枯れ」の原因となる、カシノナガキクイムシの穿入・脱出防止用  
※カシノナガキクイムシの脱出防止目的であれば、ネットを二重に巻きつけた仕様になります。
- ◆桃・梅・スモモ・アンズ などの樹体を加害する、コスカシバの侵入・産卵・脱出防止用
- ◆オリーブの樹体を加害する、オリーブアナアキゾウムシの侵入・産卵・脱出防止用



アカガシへのカシノナガキクイムシ穿入対策



オリーブへのオリーブアナアキゾウムシの侵入・産卵対策